

## 火の粉は覚悟民主攻める



58年生まれ。京都府議5期を経て、07年から参院議員。税理士。予算委員会を主舞台に政治と金の問題を追及し、「国の爆弾男」の異名も。

にしだ  
しろうじ  
西田 昌司さん

自民党参院議員

僕は、スキャンダル追及なんて、ほんまはやりたくないんです。政策の議論がしたいんです。しかし民主党は、為政者として不適格。政策を議論する相手やない。それを国民に知ってほしい。それだけなんです。

別に自民党の政権奪還のためにやっていることやない。そんなことどうでもいい。不適格者を政権から排除するためにあらゆる手段を使う。それが僕のスキャンダル追及なんです。

最初は08年の参院決算委員会でした。テレビ中継もない、消化試合みたいなところで、1時間やるから何でもいから質問せいと言われて。そこで小沢一郎・民主党元代表の不透明な政治資金の問題を調べ上げた。これは犯罪的行為や、思いました。でたらめな民主党の象徴的な事案や、と。

党からは、もっとやれと言われます。しかし下手すりゃ自民党に飛び火する。政治活動にはミスもあればいろいろあるんやから。自分のことは徹底的に調べてますよ。僕自身が葬られる覚悟でやってるからね。僕は膨大な資料に当たって、時間をかけてやっとなんです。でも他の議員は週刊誌や新聞の記者に聞いているだけ。自分で調べない。やるなら本気でやらなあかん。

ただ、民主党を倒したら日本が良くなるかという点と違ふ。日本人の戦後の精神、その象徴としての憲法。これが僕の本当の敵。死ぬまで言い続けますから。まあ、そこを訴えても聞いてもらえない。下品なヤジを飛ばす男、ただの爆弾男と見られている。ほんま不本意ですわ。

(聞き手・秋山惣一郎)